



※十王幼稚園訪問記 2011.7.6(水) 快晴

余震が収まらないなか、常磐線「十王」駅から徒歩7分程の所にある、緑に囲まれた日立市「十王幼稚園」(園長 檜村雅子先生)を訪問してきました。

訪問と言いましても、午前中は家族の方と一緒に「You can do it! あそび」の授業参観と講演、午後は先生方との勉強会です。

節電の影響で休日が変わった会社が多く、平日の水曜日にもかかわらず、多くの教育熱心な父親の姿が見られました。慣れてない様子のパパが、ヨチヨチ歩きの子を必死に追っかけている、微笑ましい姿もたくさんありました。

授業参観は、年少3クラスは「積み木置き遊び」、年中児3クラスは「迷路遊び」、年長児3クラスは「ジオボード遊び」でした。

年少児クラス「積み木置き遊び」は、5の合成分解から成り立つ積み木です。まず、その積み木を入れる箱を、4本の角材と厚紙で作ります。普段のクラス経営がきちんとしているのでしょう、各クラスとも、年少児とは思えないほど集中していました。

年中児クラス「迷路遊び」は、2本の長い角材と18本の短い角材を使って、迷路を作ります。この2本の長い角材をどこに置くかによって、迷路が完成するかどうかを考えさせる教材です。私は中国の



迷路で遊ぶ韓国の園児 ①アキコ、イエカ、ウオク
上海で、この授業を失敗した苦い経験があるのですが、先生達の指導が良く子どもたちが上手に完成させていたのが印象的でした。

年長児クラス「ジオボード」は、25本のねじを板に打ち付ける遊びです。台紙をのりで貼らず美しく完成させるという、指導書にない展開方法が工夫されていて、授業研究がよくされていると感心させられました。

正直な所、自分が作った教材の授業を見るのは、かなり緊張します。園児たちが喜んでいようか、先生方が指導し易いだろうか、こちらが試されているようで、何年たっても落ち着いて見てはいれないところがあります。 ②AEL, CHJ, DFL, KGB

講演—学力差・虐待と年収の関係と知能

学力差も虐待も、親の経済力に大いに関係しているというデータから、それは親の心のゆとり、接し方に原因がある。また能力の一番発達する幼児期に、十分知能を育てる教育が大切である。愛して、誉めて、おだてて、の教育では、耳に心地よいが、日本は危くなる。ということが言いたかったのですが、私の口ベタは有名で、どこまでその教育信念が伝わったかどうか。近々、よく整理して、本にしてみようかと思っています。

先生方との勉強会 明日からの授業に役立てるため、知能教育の歴史、知能工作、園児が真に喜ぶダイナミックな授業展開、そして、来年度改訂予定の教材をみんなで実際に作り、問題点改良点などを勉強し合った一日でした。文責 知能工作 和田

大人の知能トレーニング 出題 和田 秀巳

「概念の分類を集中思考する」問題をやってみましょう。この知能因子は、概念的知識を使って、論理的に分類するという能力です。

「問題」次の言葉を、ピッタリ3個ずつ、3の仲間に分けてください。 答えはどこかに

①	ア. ふな	イ. たい	ウ. あゆ
	エ. い か	オ. さ け	カ. かつお
	キ. こ い	ク. ま す	ケ. めだか

【 】理由() 【 】理由()
【 】理由()

「問題」次の言葉を、ピッタリ3個ずつ、4の仲間に分けてください。 答えはどこかに

②	A. 山 梨	B. 岡 山	C. 大 阪
	D. 岩 手	E. 岐 阜	F. 山 形
	G. 広 島	H. 三 重	I. 長 野
	J. 兵 庫	K. 山 口	L. 秋 田

【 】理由() 【 】理由()
【 】理由() 【 】理由()